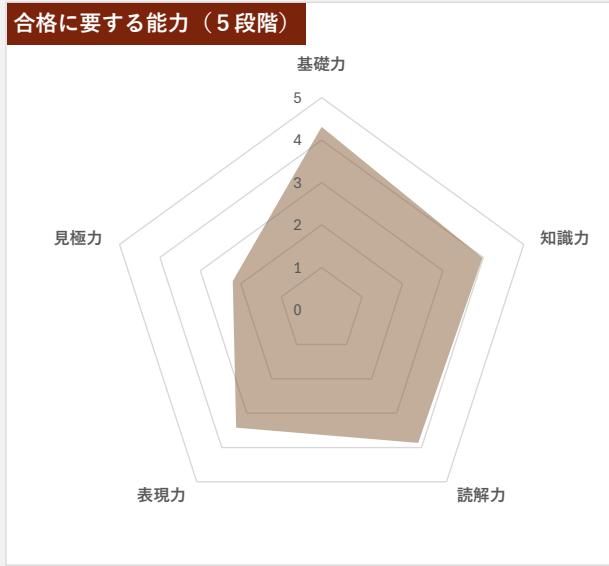


総合分析

試験区分	一般（後期）
------	--------

制限時間	90分
大問数	全 3 問



本年度 出題大分類

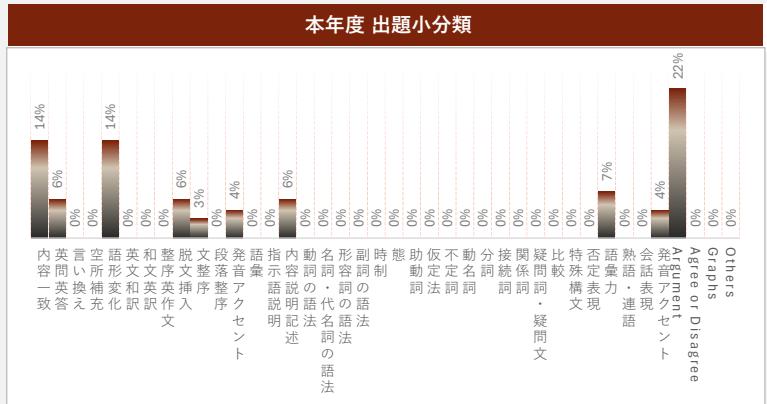
長文読解	67%
自由英作文	22%
短文空所補充	0%
短文正誤判定	0%
短文整序英作文	0%
その他小問集合	11%

本年度出題テーマ一覧

第1問	インタビュー記事の読解
第2問	自由英作文
第3問	小問集合
第4問	会話文問題あり
第5問	グラフなし
第6問	和文英訳なし
第7問	要約なし
第8問	発音アクセントあり

本年度 解答形式

論述 + 記述 67%
論述選択 33%



合格に要する能力（5段階）	
基礎力	4.1 教科書レベルの文法に対する理解
知識力	3.8 語彙・熟語・語法の知識
読解力	3.7 長文を正確に読み解く力
表現力	3.2 日英双方で正確に伝達する力
見極力	2.0 解きやすい問題を選択する力

特殊問題の有無	会話文問題あり	グラフなし
和文英訳なし	要約なし	発音アクセントあり

特記事項	特になし
------	------

総合評価

難度	3.4 最難を 5 とする問題自体の難度	標準	標準	一次合格に必要な正答率（予想）	76%
分量	83分 完答に要する時間（制限時間は90分）	標準	標準	高い正答率を要する	

入試の特徴と対策	▶ 日常で目にすることが少なく、専門性・特殊性の高いテーマからの出題。 ▶ 設問内容に答えるために、本文内容や基本的な知識からじっくりと思考する必要がある。
----------	---

入試から見る 大学が求める学生像	内容一致問題で正解の根拠を記述することを求められたり、本文の内容から推察されることを英語で述べることを求められたり、自由英作文においても本文の内容を踏まえて自身の意見を書くことが求められたりと、とかく考え方や意見を言語化することが求められる。一方で、長文・小問双方に置いて「全て選べ」という問題が出るように、深い知識と理解をもつことも必要。
---------------------	--